



学校だより

7月号

【か】よくかんがえ 【な】なかよく 【が】がんばる 【わ】わたしたちかなっ子

神奈川小公式WEBページ <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/kanagawa/>

令和8年6月30日

横浜市立神奈川小学校

つながりの中で育つ「かなっ子」

副校長 齋藤 惇

紫陽花の花が色鮮やかに咲き誇り、梅雨の訪れとともに夏の足音を感じる季節となりました。

今年度より本校の副校長として着任いたしました、齋藤惇と申します。どうぞよろしくお願ひいたします。この3か月間で「かなっ子」のすてきな姿にたくさん出会うことができました。朝、職員室前に立っていると「副校長先生おはようございます。」と目を見て元気にあいさつしてくれる子がたくさんいます。授業中、教室に入ると「見て見て。」と自分の作品やノートやワークシートを自信満々に見せてくれる子もたくさんいます。このような小さなかわりを大切に日々過ごしています。

日々様々な教育活動が行われていますが、中でも充実したペア活動は、本校の特徴です。1人の子どもに1人または2人の異学年の子がペアとなり、年間通してペアで様々な活動を行います。6年生と1年生、5年生と3年生、4年生と2年生でペアを組んでいます。

ペア活動の機会はとても多く、5月から始まった「体力アップ」は、朝の時間にペア学年で見合いながら短なわとびに取り組みます。毎年行われる「体力テスト」もペアで行い、上級生が下級生の運動補助や記録補助を行います。6月には「1・6年生ペア遠足」「3・5年生ペア遠足」が行われました。



(ペアで見合う体力アップの様子)

これらオフィシャルな活動だけでなく、そこに至るまでに関係づくりのためのペア交流会を行ったり、宿泊行事に行く上級生にお守りを作って渡したりと多くの「隠れペア活動」が行われています。

先日、体力アップの後、低学年の子が2人で「私のペアのなわとび格好よかったんだよ。」「私のペアの二重跳びすごいんだよ。」と自分のペアのよさについて話しながら教室に戻っていました。ペアを組んで間もないですが、自分のペアに愛着をもっている様子を見ると、ペア活動のよさを感じます。ペア活動では、上級生は下級生とのかかわりの中で「思いやりの心」「リーダーシップ」「役に立っているという自己有用感」が育まれています。また、下級生は上級生とのかかわりの中で「感謝の心」「憧れ」「大切にされているという自己肯定感」が育まれています。学級や学年での活動が多い学校生活において、横のつながりは自然と充実しますが、ペア活動のような縦のつながりの大切さを感じます。

6月は、地域の皆様、PTA、有識者の先生などが参加し、「学校運営協議会」が開催され、学校運営に対してご意見・ご助言をいただきました。また、毎月行われる「読み聞かせ活動」、毎週水曜日に行われている「かなっ子寺子屋」、隔週土曜日に行われている「校庭開放」、下校時見守り活動「スクールガード」など、本校は多くの地域の皆様、保護者の皆様にご協力いただいております。いつもありがとうございます。地域、保護者の皆様とのつながりも、子どもたちの成長には、かけがえのないものです。

本校の強みである「多様なつながり」を今後も大切にしながら、「かなっ子」を育ててまいります。今後ともご理解、ご協力の程、よろしくお願ひいたします。